

# 鴨生田小だより

校長 山本 良祐(文責)

## 【鴨生田小学校 めざす子ども像】

- ①じっくり考える子ども・・・[確かな知性]
- ②思いやりのある子ども・・・[豊かな情操]
- ③がんばりぬく子ども・・・[たくましい実践力]
- ④心身ともに健やかな子ども・・・[健康で安全な生活]

## “もどかしき 卒業までの 日数かな” 小林呼溪

毎朝校門に立ち、子どもたちと朝の挨拶を交わしています。暖かくなるとつれて、子どもたちの服装が軽くなり、挨拶の声も軽くなってきた気がしています。校門横の桜も蕾の膨らみが目立つようになって、開花の時を待ち望んでいるかのようです。

6年生にとっては、巣立ちの日も近づき、期待と不安の入り交じった子どもたちの表情に、この時期の複雑な気持ちが伝わってきます。

3月3日に、全校児童が体育館に集まって、「6年生を送る会」がありました。6年生と一緒に集まるのはこれが最後になります。5年生が中心になって送る会の計画をたてました。時間をかけて準備をしてきて、立派に成功させました。次は自分たちがこの学校の最上級生として、低学年のお世話や学校の仕事を引き継いでいこうとする意志が伝わってきました。

他の学年は、6年生へのメッセージと歌やリコーダー演奏をしました。どの学年も6年生への感謝の気持ちと、中学生になる6年生にエールを送る気持ちに溢れていました。



6年生を温かく送り出す気持ちをこめて

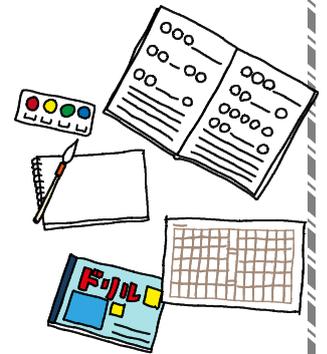


6年生が花のアーチをくぐって入場

## 【新しい学年に向けて、家庭での学習習慣を】

冬休みに入る前にもお伝えした内容ですが、家庭での学習習慣はついてますか？

先日、ある学級に入って、子どもたちに「宿題は自主勉強をしてくるよう」と伝えたところ、「何をしたらいいですか？」という言葉が返ってきました。宿題として出されたものをきちんとしてくることは当たり前ですが、それだけで終わらせずに、○教科書の復習を兼ねて、練習問題をもう一度する。○漢字の書き取り(ドリル)を繰り返す。○国語の教科書の本読みをする。○算数の計算ドリルを繰り返す。○図書室から借りた本を読む。○社会科で興味を持ったことを調べる。など、学習内容を自分で考えることも、とても大切なことです。先生やお家の人から言われたことだけやっているようでは不十分です。



ご家庭でも、「勉強しなさい。」というかけ声だけでなく、「今日は○○をしてみたら。できたら見せてごらん。」という声かけに変えてみてはいかがでしょうか。鴨生田小学校の児童は、TVやゲームにかける時間が全国平均を大きく上回り、逆に学習時間が少ないという実態があります。新しい学年に進級するこの時期だからこそ、家庭での学習習慣を見直していただきたいと思います。

## 【新しい学年に向けて、こころの準備を】

来週は6年生の卒業式、再来週は在校生の修了式となりました。右の作文は、ある学校の1年生が書いたものです。毎年、新1年生の説明会の折に紹介しているものです。

子どもたちも、それぞれ次の学年に対する、期待と不安が心に湧いてくるのもこの時期です。進級までの1ヶ月間、あせることなく、しっかりこころの準備をして欲しいと願っています。上記の学習習慣だけでなく、日頃の生活習慣も含めて、見直しをお願いします。

きょうのあさ、「もう1年生もおわるのか。」とおもいました。おとうとも、ようちえんに入るの、いろいろじゅんびがいたので、おかさんはたくんはたらいしています。でも、わたしたちもよういをしなないといけません。なぜかというところのじゅんびがいるからです。おかさんはあせているけど、わたしとおとうとはおちついていません。どうしてかという、わたしもおとうとも、もうこころのじゅんびができています。